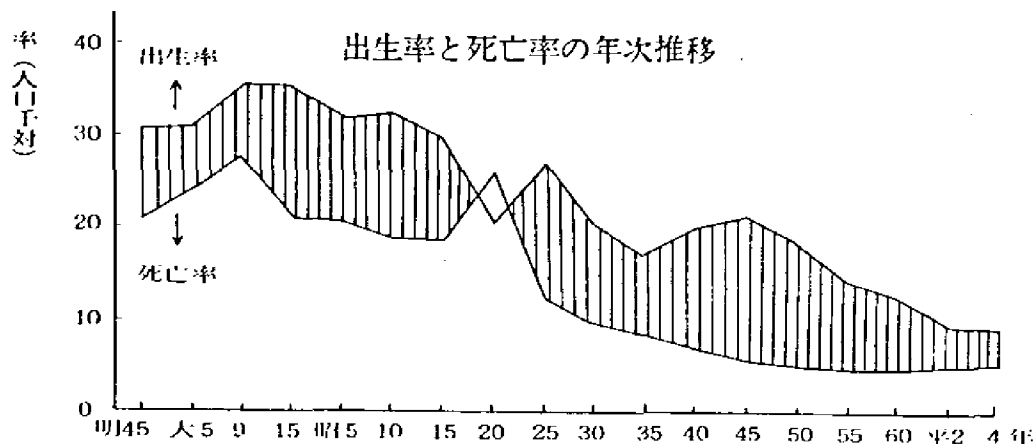


11. 人口動態の推移

平成4年人口動態調査によれば、出生数は53,128人で前年より1,059人減少、出生率（人口千対）も9.3人と明治45年以降最低の率を記録している。死亡数は1,681人増加して31,332人で、死亡率（人口千対）は、5.5で前年を上回った。



年	出生数	死亡数	死産数	婚姻数	離婚数	自然増加 (出生-死亡)	人口1000人につき	
							出生率	死亡率
明治45	43 681	28 783	5 232	10 570	1 438	14 898	31.4	20.7
大正5	45 505	34 434	4 504	11 151	1 374	11 071	32.1	24.1
9	48 520	38 218	4 195	12 708	1 346	10 302	36.3	28.6
15	50 893	30 002	3 551	12 929	1 080	20 891	36.0	21.2
昭和5	47 720	29 752	3 167	11 621	1 023	17 968	32.5	20.2
10	50 917	29 062	2 819	12 712	944	21 855	32.9	18.8
15	46 393	29 044	2 018	13 772	948	17 349	29.2	18.3
20	40 553	51 357	△10 804	20.6	26.1
25	58 578	26 330	4 389	17 477	1 658	32 248	27.4	12.3
30	44 689	20 372	3 909	16 331	1 340	24 317	20.3	9.5
35	39 267	19 365	3 661	20 204	1 254	19 902	17.3	8.4
40	53 957	19 603	3 803	25 706	1 536	34 354	20.0	7.3
45	72 481	21 051	3 894	35 364	2 596	51 430	21.8	6.3
50	77 416	21 768	3 385	36 867	3 937	55 648	18.7	5.2
55	65 554	22 965	2 617	31 760	5 426	42 589	13.8	4.8
60	60 719	24 891	2 408	30 424	6 858	35 828	11.8	4.8
平成2	53 356	28 857	1 993	33 626	7 092	24 499	9.6	5.2
4	53 128	31 332	1 924	35 947	8 411	21 796	9.3	5.5

注) この表は人口動態調査による。人口動態調査は明治32年から実施されたもので、各市町村が戸籍法による届出及びその他の関係書類を資料として作成した人口動態票を国において分類集計したものである。

なお、この表の数は日本人の本県内に常住地を有するものである。出生、死亡、死産、婚姻、離婚はその年に発生した数である。昭和15年の死亡数には戦死者、戦病死者数は含まれない。

資料 昭和50年までは、厚生省大臣官房統計情報部「人口動態の概況」、51年以降は衛生部「千葉県衛生統計年報」